

「決断～運命を変えた 3.11 母子避難～」映画上映会

9月15日（日）愛隣館の1階ホールで開催、予想をはるかに超える102名の参加がありました。

映画は、東日本大震災に伴う福島原発事故により、福島県から全国各地へ自主避難した10組の家族の苦悩と現状を描いたドキュメンタリー。

震災当時の様子から、避難を決断するまでの苦悩、避難先での生活、国と東電を相手にした裁判等、避難者の葛藤や思いが赤裸々に伝わってきました。

また、会場では手作り小物販売等のマルシェや、会の後半は避難者のお話会もありました。京都に避難してきた当時、小学生だった子が大人となって、今回、母と一緒に登壇されたことにもすごく感銘を受けました。

避難者の苦悩は今なお続いています。福井県の高浜原発から京都市も約70キロ圏内です。他人事ではなく、我が事として考えていこうと強く思いました。（佐藤雅裕）

